

# 京都革新懇

No248 会員ニュース 2014年 1月5日 発行

日本の平和と民主主義・革新統一をめざす京都の会

http://www.kyoto-kakusinkon.com

〒600-8216 京都市下京区新町七条下ル東塩小路町727

企業組合しんまち403 人権連気付

TEL/FAX共用 075-352-3288

## 全国革新懇の 3つの共同目標

①日本の経済を国民本位に  
転換し、暮らしが豊かに  
なる日本をめざします。

②日本国憲法を生かし、自  
由と人権、民主主義が発  
展する日本をめざします。

③日米安保条約をなくし、  
非核・非同盟・中立の平  
和な日本をめざします。

## 京都革新懇拡大常任世話人会・新年会

1月24日(金)

午後3時～ 拡大常任世話人会 (3階大多目的室)

午後5時～ 新年会 (2階和室) (3000円)

京都市職員会館「かもがわ」

## 安倍政権の「終わりの始まり」 —2014年の革新懇運動の課題—



京都革新懇代表世話人  
谷内口 浩二



京都革新懇代表世話人  
森川 明

### 参議院選挙結果を どう見るか

昨年夏の(7月)の参議院選挙では、マスコミは「ねじれが解消」された」と評価された。

しかし、有権者は公約破りの民主党への批判は一昨年12月に行われた解散総選挙の時と同じく厳しかったが、自民党に対しては、景気を回復して欲しいとの希望を持ったが、積極的に支持したのではなかった。有権者の52%という過去最低の投票率で、その中で得票率が34%ですから、有権者の2割弱の支持しか得られていないにも関わらず、衆議院に続き参議院でも巨大与党が実現する結果となった。

しかし、この結果、実態としては、国民の意思と、政権与党との乖離・ねじれは大きく拡大し、深刻化する結果となった。

### 秘密保護法の 強行可決は許さない

昨年12月に、与党によって、稀代の悪法である秘密保護法が強行可決された。

①この事実はずまず、安倍政権・与党が、国民の意思や利益を踏みにじり、また国際世論も無視して、如何に暴走する危険なものであるかということが、多くの人々に明確になった。この意味で、安倍政権の「終わりの始まり」であるという指摘は正しい。

②また、この間、第3の勢力の野党といわれた「維新」「みんな」が水面下で、与党との意味のない修正協議を成立させるなど、全くの「補完勢力」に過ぎない実態も明らかになった。

年末には「みんな」が分裂し、マスコミは次なる野党再編を取り上げようとしているが、どうなるうとも、自民党と根本的に対決する立場に立つことはできず、「補完勢力」との本質に変わりはない。

③何より、今回、上程されてから40日余りの短い期間に、急速に国民の側の反対運動が大きく盛り上がったという事実があった。研究者、報道関係者、弁護士のみならず、芸術家、映画関係者、宗教者など幅広い人々が反対の見解を表明し、圧倒的に多くの一般国民が立ち上がり、国会を連日包囲し、全国で反対運動が取り組まれた。

また、憲法と平和を守る運動に関わってきた人々のみならず、これまでの原発再稼働、TPPに反対し、情報公開の運動をしてきた人々等も、保護法反対に運動に加わった。

ここで示された国民の力は、一過性のものとして収束するものではなく、今後の運動につながるものである。

①秘密保護法についての今後の運動の方向としては、まず、法律上は公布後1年以内に施行させるとなっているが、この施行させないで廃止させる運動が提起されることになる。今

### 今年の課題は?

後の法案の危険性が一層明らかになれば、廃止される可能性もあると思われる。

仮に、早期に施行された場合でも、明治時代の憲法と違って、今の日本国憲法は、憲法に違反する法律の効力は認めない。

このため、憲法を守る運動と運動として、秘密保護法の違憲性を問う運動を展開することも可能である。

いずれにしても、秘密保護法を政権と官僚の求めるままに一人歩きさせない運動が必要である。

②次いで、集団自衛権の行使を認める解釈改憲を許さない運動、その次の明文改憲を阻止する運動が必要である。さらに、4月からの消費税増税に反対すること、TPPへの参加や原発再稼働などを許さない戦いが求められている。

次ページに続く



1面からの続き

### 4月の京都府知事選挙の持つ大切な意義

国政選挙の機会が無い中、全国的に注目される選挙として、1月の名護市長選挙につづき、この京都で、知事選挙が行われる。

安倍政権の暴走を止め、悪政を是正する流れを京都から作っていかれるかどうか問われる重要な政治的戦いとなる。京都革新懇としてはこの戦いの先頭に立つて、地域、分野、職場での運動に力を尽くそうではないか。

### すべての地域・職場に強大な革新懇づくりを

安倍政権が「日米同盟、財界中心」でやりたい放題の暴走を繰り返して、国民の生活が混乱し続けている今ほど革新懇運動が求められている時はありません。革新懇運動の「二つの共同目標」の立場こそが未来を照らす羅針盤となっています。革新懇の拡大強化がますます重要となつていきます。引き続き、この点でのみなさんのご協力をお願いいたします。

### 京都2013不戦のつどい

歯車の逆回転は許さないと「麻生ナチス発言」の背景を学習

12月7日、京都市中京区の京都アスニードで開いたアジア・太平洋戦争開戦72年「京都2013不戦のつどい」は準備した資料が足らなく、会場いっぱい100人以上の参加でした。前日強行採決された特

定秘密保護法への怒りみなぎるつどいとなりました。

京都革新懇代表森川明弁護士は主催者あいさつで「同じ歴史を繰り返す安倍政権、歯車の逆回転は許されない」「戦前と違う点がある。今回も多くの国民が立ち上がったが国民の力が当時と違う。日本国憲法もある」とのべました。俳優の藤沢薫さんによる「きけわだつみのこえ」6編の朗読に参加者は感動しました。

臨時国会の論戦をリードし大活躍の井上さとし参議院議員も駆けつけ、「安倍政権はいよいよ終わりの始まり、新しい時代を切り開こう」と呼びかけました。

西牟田祐二京都大学教授の講演「麻生ナチス発言の背景を探る」は、「ナチスの独裁体制は緊急事態を理由に憲法や法的手続きを停止させ、国会が持つ立法権を政府に委任させ作らせた。自民党憲法改正草案にそれと同様の緊急事態条項が新設されている」と。

1933年1月にヒトラー内閣成立して同年3月に「全権委任法」可決に至った過程を詳しく説



朗読の藤沢薫さん



講演中の西牟田氏

明し自民党の草案とも比較しながら危険性を指摘しました。

東山区の「馬町空襲を語る会」の記念碑建設の取り組み、京都府の戦争犠牲者に対する施策への平和遺族会の要求運動も発表されました。抗議声明「特定秘密保護法の強行採決に抗議し撤回を求める」も参加者全員で確認し、自民党安倍首相と公明党にこの声明は送付されました。閉会挨拶は日朝協会の大橋満さんが行いました。

私、尾崎望は来年春に行われる京都府知事選挙に立候補することを決意いたしました。

**「貧困の再生産、を断ち切るために地方自治体ができることは少なからずある」**——立候補に至る私の決意

この夏に、京都府政の変革を願う親しい人々から知事選挙への立候補の話がありました。大いに悩みました。しかし意外なほど自然に決意するに至りました。

小児科医師としての日々の診療の中で、「貧困の再生産」ともいえる光景を目にすることが増えています。

泣き続けているのに声もかけてもらえず抱っこもしてもらえない子、大声で罵倒され人目もはばからずたたかれる子、何日もお風呂



に入れてもらえないのがありとわかる子、せつかく入れた保育園に家族の生活が不規則なために通わせてもらえない子。

こうした家族の背景には共通して、親の不安定就労、DV、精神科疾患、十分な教育の機会に恵まれなかった子ども時代、あるいは虐待の連鎖がみられます。

そして一番根底には貧困が存在しています。私たち医療も福祉行政も懸命に援助の手を差し伸べますが、救済するべき妥当な手段がみつからなかったり、家族の拒否にあつてなかなかうまくいきません。

この子たちは生まれて間もないころから、平等に育つにはあまりに大きな貧困という、ハンディを背負ってしまつて、潜在する可能性の芽を摘み取られているような気がして悲しい気持ちになってしまいます。

貧困の背景は明らかです。決して自己責任に帰せられるようなものではありません。海外に活動の場を求めるほんの一握りの大企業が多く富を独占し、大部分の国民はその恩恵にほとんど浴することができないこと、そしてこの大企業の横暴を規制せず反対に手助けしてきた政治のありかたからきていることは明らかです。

私は政治の根底に「人が大切にされる」という視点が必要だと思えます。このことは、発達の遅れがあつてもなくても、高齢者にも働く人たちにも、すべての人たちに共通することです。

人生の初めから差別された子どもたちのおかれている現状を変革していくため、地方自治体でできることは少なからずあると考えます。「ひと・いのち輝く」京都府政の実現を願い、立候補の決意に至りました。

尾崎 望



## 京丹後経ヶ岬に米軍基地・ Xバンドレーダー設置断固反 対！ 京丹後市長申入れ行動 と現地視察

サンサン革新懇

11月6日〜7日にバスをチャーターして  
会員29人で京丹後市役所を訪問して、日本  
共産党京丹後市会議員の平林ちえみさん  
も同席し、中山市長に抗議と申し入れを行  
いました。中山市長に直接面談はできませ  
んでしたが、基地対策室長が応対しました。  
「基地対策室」は米軍基地にかかわる安  
全・安心の問題を扱うことで防衛省からの  
出向者、府から1名出向者で構成されてい  
ます。

当会の米軍基地設置反対の「申し入れ  
書」を正面口  
ビーで読み  
上げ、米軍  
基地は環境  
破壊の元凶  
であり、住民  
生活と相容  
れないと断  
固反対を伝  
え、中山市  
長の回答を  
代表世話人高尾伸一郎に返すことを要求  
しました。



申し入れ文書を手渡す

室長はたくさんさんの団体、反対する方が訪  
庁されたがそういった前例がないこと、経ヶ  
岬にレーダーと基地を受け入れることは  
「日本の安全」に必要と明言し、回答を拒否  
しました。

29人の怒りをバスに乗せ基地予定地の  
宇川尾和へ向い、現地の「米軍基地建設を  
憂う宇川有志の会」三野みつるさんと合流  
しました。

三野さんはこの間、防衛省の説明は3  
回、市からは1回の説明が開催されたが電  
磁波の人体・環境への影響、米兵・軍属(1  
60人)による犯罪・自動車事故など治安  
問題など住民から多く意見が出され、防衛  
省、市の説明毎に不安と反対が広がって  
おり、政府は地権者会議で二反につき年間19  
万円賃借料(宇川の相場8千円)、2回目の  
会議では30万円に引き上げ、地権者と住民  
の分断を図り、防衛省は「私たちの誠意は  
金」と賃借料40万円超をちらつかせていま  
す。12月には土地の賃借契約を済ませる計  
画と報告されました。

さらに三野さんは宇川住民1700人  
全員が準地権者で、その「安全・安心」の確  
保と予定地にある文殊さんせりりょうざん  
(せりりょうざん字)くほんじ(くほんじう)  
(曹洞宗)や、洞窟の穴文殊は「歴史的文化  
遺産」で、経ヶ岬には絶滅危惧種の「ハヤブ  
サ」が棲息しています。

米軍基地建設には「日本環境管理基準」  
の厳しいルールを無視するやり方で強行し  
ようとしています。米軍基地建設は決定  
していません！と述べられ、連帯していくこ  
とを参加者全員で決意しました。(中組修)



## 講演会&総会開く

富田宏治教授が講演

伏見革新懇

伏見革新懇は12月1日に「講演会&20  
13年総会」を開き、46人が参加しました。  
第一部では、関西学院大学法学部教授の  
富田宏治

氏が「安倍  
政権の行  
方と政治  
革新の展  
望」日本  
型『企業国  
家の断末  
魔』の中  
で」と題し  
て講演されました。



富田氏は「秘密保護法での暴走は、復活  
した自民党の強さだと勘違いしてはならな  
い、実は彼らの弱さのあらわれだ。自民党政  
治は議席数がいくらあってもぜい弱な基盤  
の上にある。特に1980年代にピークを  
迎えた日本国家のあり方が終わろうとし  
ており、断末魔の状況が20年位続いている。  
もういつちもさつちもいなくなっている。

自民の暴走に、このままでは大変なこと  
になるという危機感も大事だが、それ以上  
に「展望を持ってしっかりたたかっていくこ  
とが大事だ」と強調しました。

さらに、富田氏は「自民の大量議席獲得  
は、大敗した2009年総選挙から得票数  
を減らしたうえで『風』によって大

量得票する政治は終わった。もはや『風』に  
はあおられない、行き場を失った1000  
万〜2000万の有権者に、対面的な政治  
対話を通じて強固な支持を広げる組織戦・  
陣地戦の時代になった」と述べました。

そして、日本型『企業国家』の大きな行き  
詰まり、小泉構造改革、自民から民主への  
政権交代、橋下維新ハシズムの跋扈(ぼつこ)、  
自民党政権の復活をどう見るかなど  
について詳細に明らかにしました。

最後に富田氏は、「安倍自民党にはあせ  
りとおごりがある。彼らは決して強くない  
ことに確信を持ちその命脈を断つたたか  
いを進めよう。東北大震災以後復活しつづ  
ある連帯、協同、助け合いを手掛かりにし  
ながら、米国、大企業、霞が関官僚主体の日本  
型『企業国家』とは違う像をトータルに描  
き、これを対抗軸にしなから、個別の課題で  
もたたかぬき、多くの人々との徹底的な  
対話を広げ、政治を変える強固な基盤を作  
つていこう」と呼びかけて講演をしめく  
りました。

第2部の伏見革新懇2013年総会  
では、青年革新懇結成めざす活動や、10・20全  
国青年大集会のとりくみ、職場革新懇、秘  
密保護法のたたかい、原発問題、知事選  
などについて討議し、事務局から提案され  
た「激突の情勢政治を変える新しい共同・革  
新懇運動の飛躍をめざす2014年の運  
動方針案」などの総会議案を全会一致で採  
択し、58人の世話人を選出しました。

知事選予定候補の尾崎望さんのメッセー  
ジが紹介され、また、京都革新懇の伊藤藤  
雄常任世話人が挨拶しました。(家野)

### 2014年1・2・3月のこよみ

- 1月6日(月) 京都総評旗びらき P6~ ルビノ
- 1月6日(月) 労館新春交歓会
- 1月6日(月) 知事選勝利決起集会 P5 中小企業会館
- 1月7日(火) サンサン革新懇三菱門前早朝宣伝(予)
- 1月8日(水) 民主府市政の会新春レセプション P6 半~ 京都国際ホテル
- 1月9日(木) 憲法宣伝(毎月)
- 1月10日(金)~11日(土) 京都自治労連春闘討論集会・旗開き 京都きよみず花京か
- 1月11日(土) サンサン革新懇新年会 P6~ ウイズユー
- 1月11日(土) 府高教組の春闘学習会と旗開き
- 1月11日(土) 京都生健会新春のつどい
- 1月12日(日) 沖縄名護市長選挙告示 19日(日)投票
- 1月13日(月・祝) 人権連旗開き A11~ 京都タワーホテル
- 1月15日(水) アスベスト訴訟 口頭弁論
- 1月15日(水)~18日(金) 日本共産党第26回定期大会
- 1月18日(土) メンタルネルス連続講座(第4回)
- 1月18日(土) 京都民医連旗開き
- 1月19日(日) 京建労臨時大会・活動者会議・旗開き
- 1月19日(日) 綾部市長選挙告示 26日(日)投票
- 1月24日(金) 京都革新懇拡大常任世話人会・新年会 P3~ かもがわ
- 1月25日(土)~26日(日) 2014年関西原水協学校 京都教文センター
- 1月25日(土) 教育のつどい・全体会 P1 半~ 教育文化センター
- 1月26日(日) 教育のつどい・分科会 A9 半~ 教文センターとかもがわ
- 1月26日(日) 京都総評臨時大会 A10~ ラボール京都ホール
- 1月27日(月) 全国革新懇代表世話人会
- 1月28日(火) 全国中小業者総決起集会 P1~ 日比谷公会堂
- 1月31日(金) たばこ革新懇新春のつどい A11~ 長岡産業文化会館
- 2月8日(土) 京都市職労春闘討論集会
- 2月8日(土)~9日(日) 近畿ブロック母親運動学習会 奈良
- 2月21日(金) 府民大集会 府立体育館
- 3月20日(木) 京都府知事選挙告示 4月6日(日)投票
- 3月21日(金) バイバイ原発集会 円山
- 3月23日(日) 京建労春の大運動決起集会 円山音楽堂

### 戦争するための弾圧法 「特定秘密保護法案」 学習会60人参加

#### 乙訓革新懇

11月22日、乙訓革新懇は長岡京市中央公民館で学習講演会を開き60人が参加しました。講師は村山晃弁護士。村山さんは「この法律をなぜ急いで作ることか。法律がなかったことで、日本の『安全』にどんな支障があったのか、説明はなんらな

い」このべ、さらに「戦争するためには、準備の段階から『秘密』は不可欠。私たちは、『軍機保護法』『治安維持法』の『大本営発表』で事実をゆ



がめられ、国ぐるみで戦争を強いられた歴史を絶対に忘れない。」と強調しました。法案については「何が秘密になるのか、それは秘密。秘密の解除は場合によれば永遠になる。」「適正評価」という恐ろしい思想調査。」「秘密」のレッテルを貼ったものを取り扱うものは、全部、家族も含めて丸ごと調査される、こと。重罰と市民の処罰。「秘密」を扱うものは10年以下の懲役。「違法」に「秘密」を取得した市民も、10年以下の懲役。「違法」に「秘密」を取得しようと企て、あるいは、共謀し、あるいは、教唆・扇動した市民も処罰される、とのべました。(梅林)

参加者からは、「わかればわかるほど恐ろしい法律。いまが山場、周囲に語りかけ、集会や宣伝行動に参加します。ステッカーをつくって貼りめぐらそう」などの感想が寄せられました。



### 編集後記

新しい年を迎えました。革新懇ニュースは、多くの会員と協力者に支えられて、毎月途絶えることなく発行を続けています。安倍内閣は、消費税の増税・TPP・年金改悪、秘密保護法など、革新懇と国民の願い「平和」「民主主義」「生活の向上」のすべてを否定する政策を次々と強行してきました。今年、国民総反撃の年にしましょう。革新懇は、まさに出番です。革新懇ニュースは、革新懇と国民をつなぐ大切な役割が求められています。国民とともにたたかう先頭に立つとともに、革新懇を大きく強く、そのためにも革新懇ニュースを大きく広げましょう。

京都革新懇は、「青年・組織活動」のため、組織強化カンパに取り組んでいます。振込用紙を同封しています。協力を御願ひします。

カンパの  
お願い